



局所災害対応訓練を実施



館林地区消防組合では、令和8年2月18日、明和町日本キャンパックホールにおいて、刺激性物質の散布を想定した局所災害対応訓練を実施しました。

コンサート会場でスプレー様物質が撒かれ、多数の傷病者が発生したとの想定のもと、消防・警察・行政および施設職員が参加し、関係機関が連携した CBRNE 災害対応、多数傷病者対応の確認を行いました。

施設側の初動もシナリオに組み込み、現場と施設が一体となった対応体制の在り方を確認しました。また、傷病者役として参加した太田医療技術専門学校生の協力を得て、より実際に近い状況下で活動手順や安全管理上の課題を洗い出しました。

今後も、多様な災害を想定した訓練と検証を重ねることで、現場職員の対応力向上と関係機関連携の一層の強化を図り、地域住民の安全・安心を守る消防体制の充実に努めてまいります。

